



1月13日(日)

発行所

庄内日報社

本社 / 〒997-0035 鶴岡市馬場町8-29 電話0235(22)1480(代表)
酒田支社 / 〒998-0045 酒田市二番町6-2 電話0234(22)4244(代表)

©庄内日報社 2013

購読のお申し込み
TEL(0235) 22-1481

編集局直通
TEL(0235) 22-1482
FAX(0235) 22-1427
広告のお申し込み
TEL(0235) 22-1479
FAX(0235) 22-2633
印刷のお申し込み
TEL(0235) 22-1724

ホームページ
http://www.shonai-nippo.co.jp/

登録銘菓

古 鎮

鶴岡

木村屋

電話 一一一四三〇三〇

地域産材の家造り 魅力学ぶ

庄内型 エコハウス コンテスト入賞者が紹介

出羽商工会

出羽商工会(小野木寛会長)の「家づくり研修会」が11日、三川町のなほホールで開かれた。同商工会が本年度に実施した住宅コンテスト「庄内型エコハウスアワード」の受賞者による事例発表、パネル討論などを通じ、地域産材を使った家造りの魅力を学んだ。

風土に合った 60人が研修

工業部会(太田明雄部会長)が毎年テーマを変えて開いている研修会。一般を含め約60人が参加した。

最初に、庄内型エコハウスアワードで省エネ、自然エネルギーの両部門を受賞した「トータルハウジング夢空間」(鶴岡市淀川町)の佐藤渉代表と、大賞と地域材部門を受賞した「川田建築

地域産材を使い、庄内の風土に合った省エネ住宅を考えたパネル討論



浴中の事故を防ぐには部

屋間の温度差をなくす必要性を指摘し、「熱を逃げにくくすれば、光熱費は掛からない。省エネ住宅は健康住宅で、長持ちする低ランニングコスト住宅でもある」とした。受賞物件の光熱費は月平均1400円(オール電化)。

川田さんは、「健康」を最優先テーマに掲げ、庄内産で調湿や癒やし効果の高い天然乾燥木にこだわった家造りを紹介。集材などには、収納せず加工しやすい長所だけでなく、シックハウス症候群の問題や資源の低利用効率など短所もあることを指摘。そして、収縮しやすい天然乾燥木を使う際には、木を熟知し丁寧

な手仕事をする職人が必要であることを強調。優秀な大工を数多く輩出した温海町立職業訓練所(1987年閉校)を挙げ、「庄内には、そうした貴重な資源と文化がある」と、地元の風土の中で培われた資源と伝統技術の再考を訴えた。

庄内冬の味覚「アサツキ」

酒田・砂丘畑 雪の中で収穫最盛期



庄内の冬から春にかけての味覚「アサツキ」の収穫が、酒田市南部の砂丘畑で最盛期を迎えている。雪や土をかき分ける